

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成30年度採択）

中間評価結果（公表用／ハード分野）

番号	研究名	研究代表者	評価
30-5	道路構造及び空洞特性に適応した陥没危険度評価と合理的路面下空洞対策についての研究開発	東京大学 教授 桑野 玲子	A
<p>&lt;研究の概要&gt;</p> <p>路面下空洞の生成要因や拡大過程・陥没危険度を解明し、併せて空洞探査の高度化と空洞特性に応じた適切な補修方法を開発することにより、道路管理者に発信し得る「調査計画・空洞探査・空洞補修に係る一連の合理的プロセス」、即ち道路陥没予防ソリューションを開発する。</p> <p>&lt;中間評価結果&gt;</p> <p>空洞充填材の開発や実物大試験道路における空洞載荷試験の実施など、計画通り順調に進んでおり、現行のとおり推進することが妥当であると評価する。</p> <p>&lt;参考意見&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 本研究の成果が実務のどのような場面でどう利活用されるのかを意識した研究成果がとりまとめられることを期待する。</li></ol>			

※本中間評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第39回新道路技術会議において審議したものである。